

AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア 12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究員による解説とともにお知らせいたします。（2023 年第 3 四半期）

グラフの読み方

図 1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質 GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDP には名目値と実質値があり、そのうち実質 GDP の伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDP デフレータ 名目 GDP を実質 GDP で除した値として計算される。その伸び率は、名目 GDP の価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDP デフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図 2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の関係を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1 とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2 は M1 に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図 3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したもの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 本国通貨と米ドルとの交換レート（ドル/本国通貨）。指数の上昇は本国通貨高、下落は本国通貨安を示す。本国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図 4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



公益財団法人

アジア成長研究所

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4 / TEL：093-583-6202 / URL：<https://www.agi.or.jp>

日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

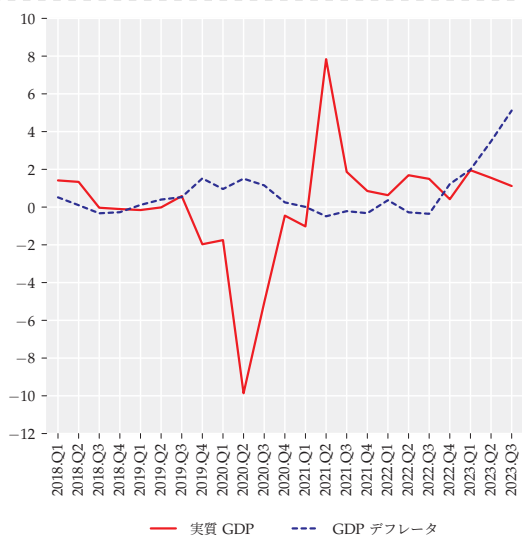


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

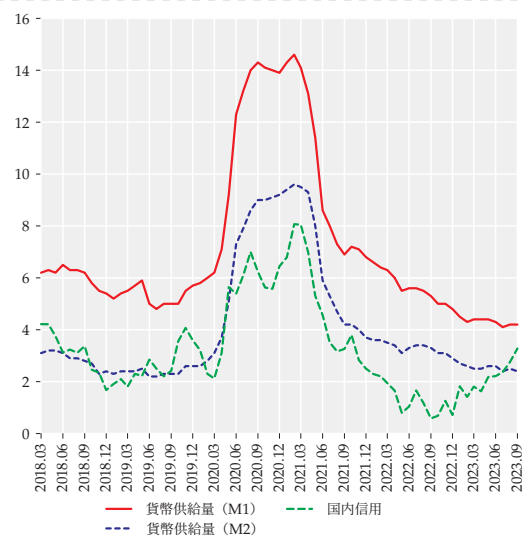
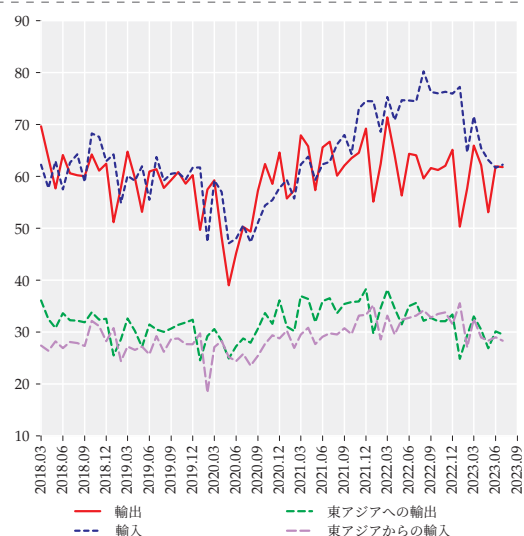


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



日本経済の動向 (2023年第3四半期)

2023年第3四半期の実質 GDP の伸び率は前期 (1.7%) から減速し、1.2%となった (前年同期比, 速報値)。民間最終消費支出が前年同期比で -0.2%と前期 (0.0%) よりも減速したほか、民間企業設備投資も -1.0%と前期 (1.8%) を下回った。2021年末から円安傾向が続き、2023年9月末時点では146円台となっている。貿易は好調であり、第3四半期の輸出額および輸入額はそれぞれ前年同期比で2.6%と-4.6%となった。国内需要、特に民間需要はほぼ全ての項目でマイナスとなった。民間最終消費は、新型コロナ5類移行を受けてサービス消費の回復が続いたものの、長引く食料品などの物価上昇が財消費の重しとなり、2四半期連続のマイナスとなった。名目賃金は上昇しているものの、物価がそれ以上に上昇している。しかし、物価上昇も前年比でピークアウトしており、国内需要も底堅さを取り戻すことが期待されるため、今後も景気は回復基調で推移するとみられる。

(小松 翔)

中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

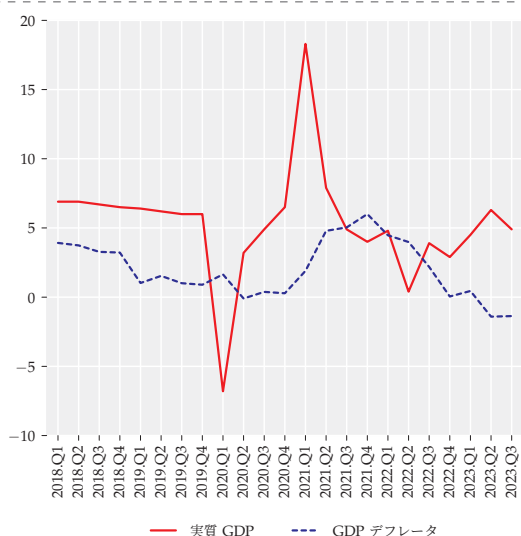


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

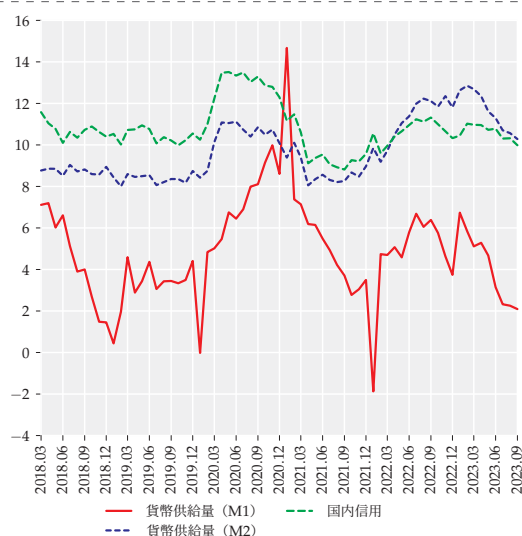


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

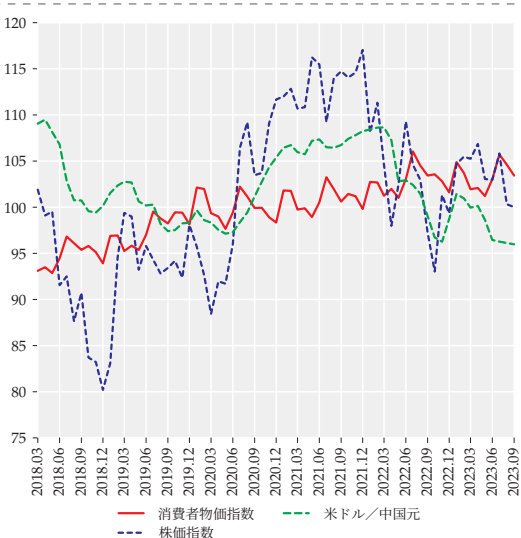
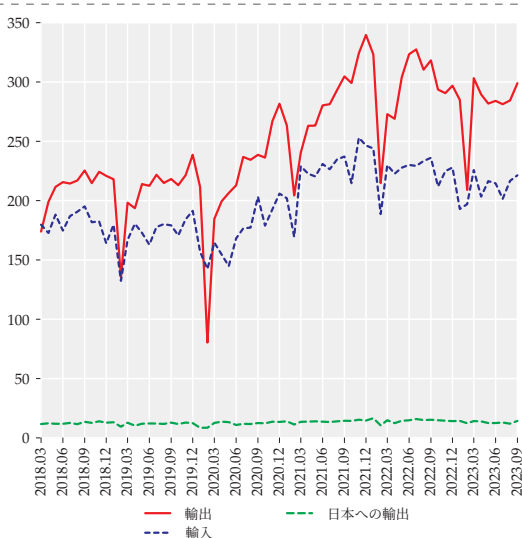


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



中国経済の動向 (2023年第3四半期)

第3四半期の実質 GDP の伸び率（前年同期比）は 4.9 % となり、第2四半期の 6.3 % から鈍化した。支出側の GDP 成長率への貢献度を見ると、国内最終消費が 94.8 % を寄与している。民間消費を代表する小売売上高は低調な回復を示している。固定資本形成の GDP 成長率への貢献率は 22.3 % である。ハイテク分野などの製造業の投資は堅調な成長を示しているものの、不動産市場では低迷が続いている。デベロッパーの資金繰り改善や政府が進める消費者への住宅引き渡し支援政策（「保交楼」）などが各地で行われているが、低迷からの脱却ペースは不透明である。住宅販売価格の低下が消費者のコンフィデンスを一層低下させ、不動産市場の回復にはまだ時間がかかると見込まれている。最後に、純輸出の GDP 成長率への寄与は -17.1 % となっている。グローバル市場の需要低迷や地政学的緊張などによって、輸出が伸び悩んでいる。（彭 雪）

香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

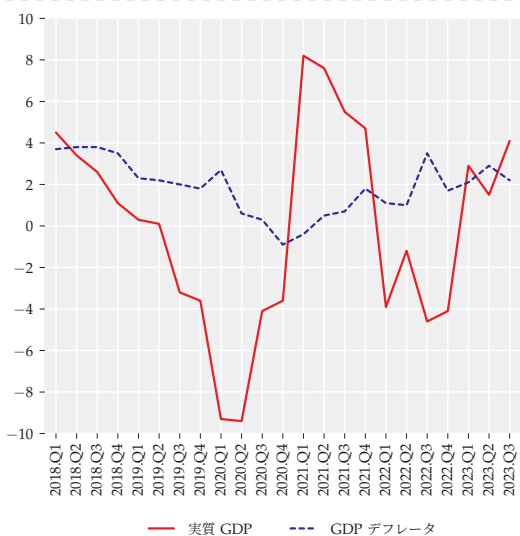


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

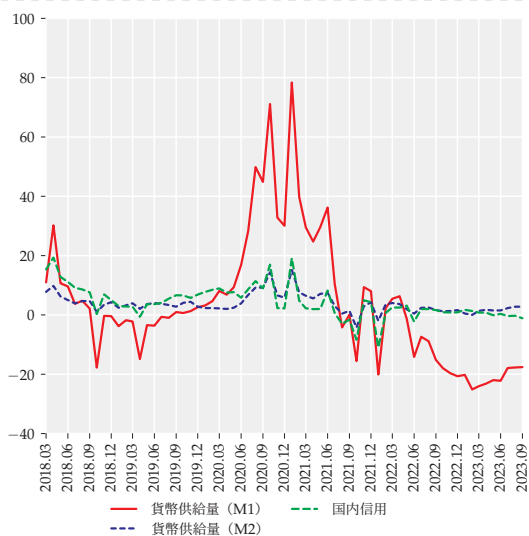


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

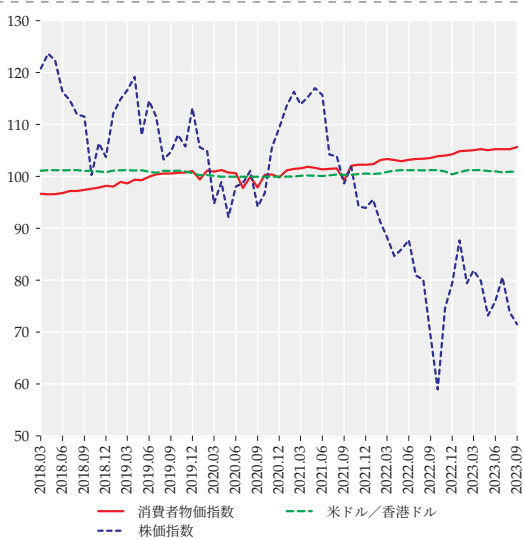
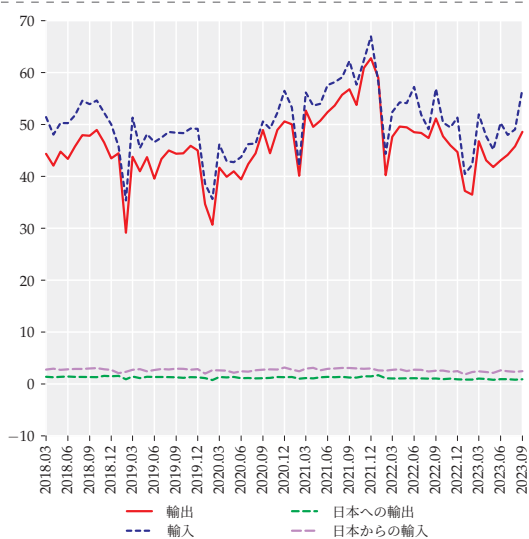


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



香港経済の動向 (2023年第3四半期)

2023年第3四半期の香港経済は、インバウンド観光と民間消費の牽引により、回復が続いた。対前年同期比実質 GDP 伸び率は4.1%になり、第1四半期の2.9%と第2四半期の1.5%からさらに上昇した。ただし、第3四半期の香港の貨物総輸出は、外部需要の低迷で8.6%下落した。中国本土と米国への輸出がさらに下落するとともに、EUや他のアジア諸国への輸出も減少した。しかし、インバウンド観光の強い回復により、サービス輸出は、第2四半期の22.8%増に続き、23.9%伸びた。第3四半期の固定資産形成は対前年同期比18.4%拡大し、民間消費も6.3%拡大した。また、第3四半期の失業率は、第2四半期の2.9%から2.8%に下がった。一方、米国の利上げの継続と中国本土経済の回復への懸念から、9月末の香港株価のハンセン指数は6月末から5.9%下落した。11月10日に、香港政府は、2023年通年の実質 GDP 成長率予測値を3.2%に下方修正した。

(戴 二彪)

韓国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

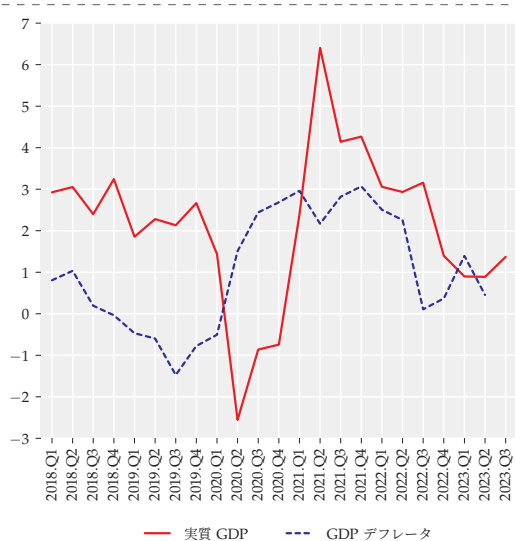


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

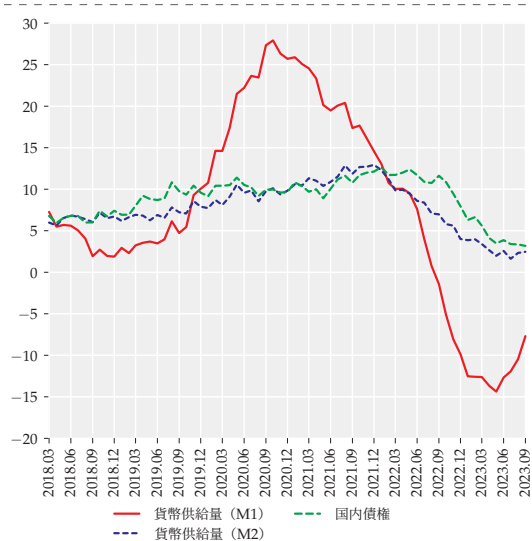


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

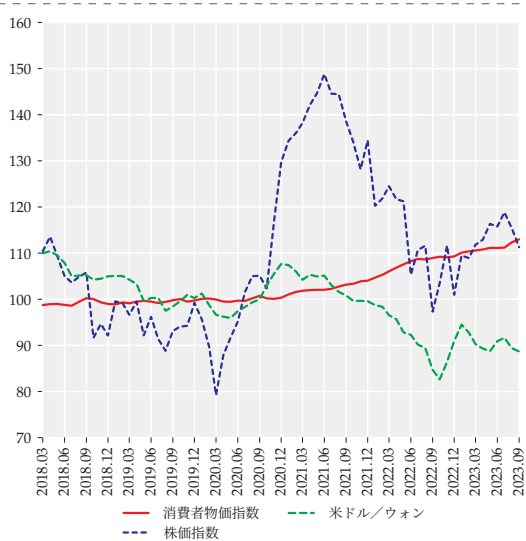
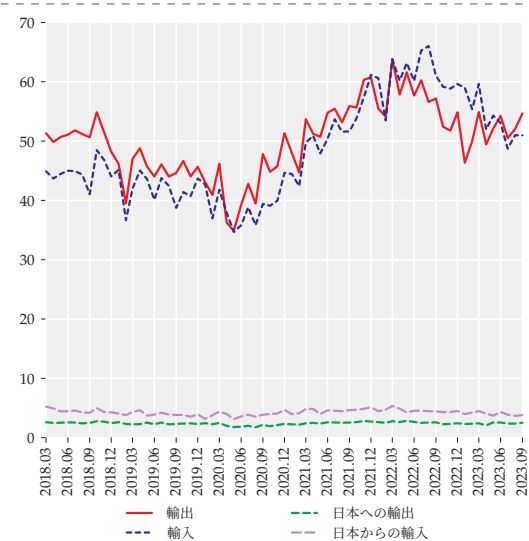


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



韓国経済の動向 (2023年第3四半期)

韓国の2023年第3四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は1.37%で、前期の0.89%から約0.5%ポイント上昇した。半導体などの輸出と民間消費の回復が要因だと見られている。9月末の株価指数は2,465.07、1米ドル=1329.47ウォンとなり、株価もウォン相場も下落した(今年6月末の同指標は2,564.28、1296.71ウォンであった)。また、9月末の消費者物価指数は112.99となり、伸び率は3.73%(前年同月比)であったが、これは食料価格の高騰によって加速されたと考えられている。外需は、輸出の伸び率が前四半期の-12.04%から-9.66%へと3%ポイント増加した。さらにM1とM2の伸び率はそれぞれ-7.69%と2.46%で、M1の減少率は今年5月以降縮小傾向にある。韓国経済の先行きは、世界的な原油価格とイスラエル・ハマスの紛争に関連する不確実性の高まりにより、経済成長とインフレの見通しに関して非常に不透明なままである。(柯 宜均)

台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

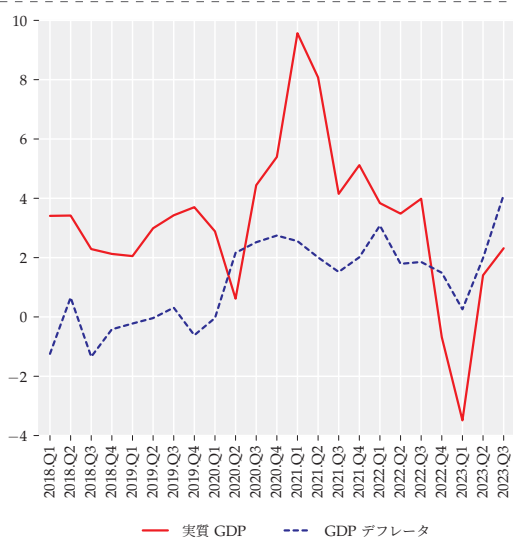


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

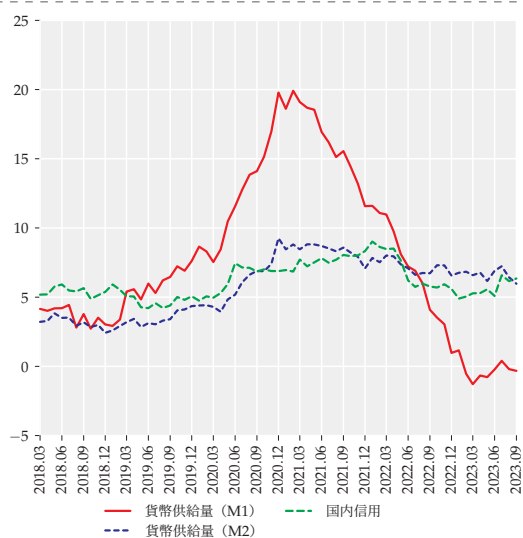


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

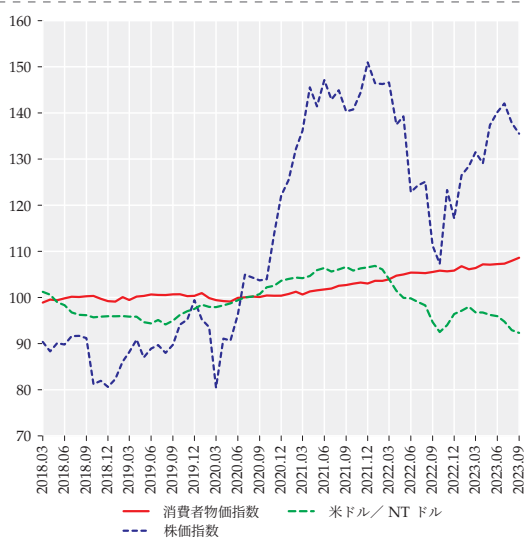
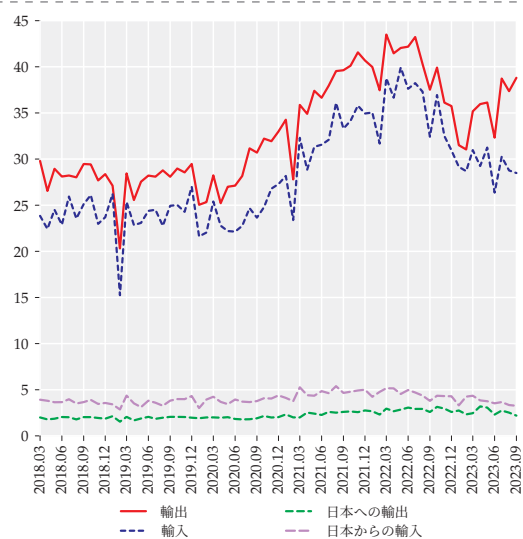


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



台湾経済の動向 (2023年第3四半期)

台湾の2023年第3四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は2.31%で, 政府の予測より0.23%ポイント下回った。これは主に民間投資の低迷によるものと考えられている。とはいえ、傾向から判断すると、台湾経済は向上を続けている。9月末の株価指数は16,353.74, 1米ドル=32.03台湾ドルであった。株価も台湾ドル相場も下落した(今年6月末の同指標は16,915.54, 30.82台湾ドルであった)。国際貿易では、輸出の伸び率が前四半期の-16.93%から-5.08%に改善した。特に、AIや新型モバイル製品の需要増により、情報通信・AV製品が輸出の主力となり、輸出の減少率が大幅に縮小した。国際的な地政学的リスクは続いているが、台湾ではAIが新たな技術投資と産業革新を促進する可能性が期待されている。(柯 宜均)

インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

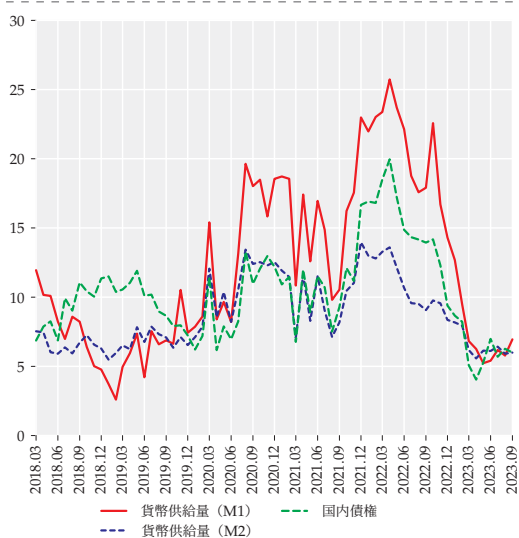
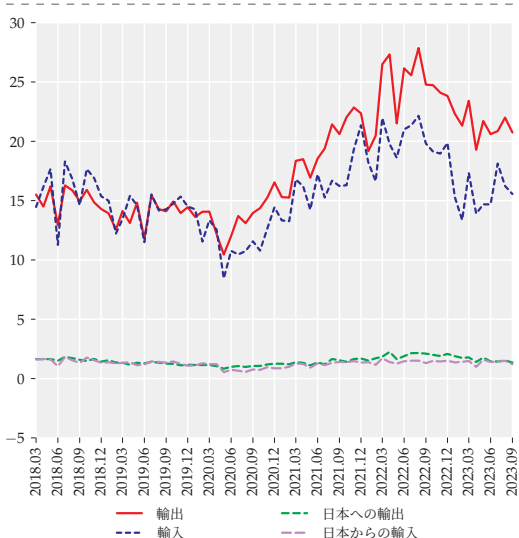


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インドネシア経済の動向 (2023年第3四半期)

2023年第3四半期の実質 GDP 成長率は前年同期比で 4.94 %となった。2021年第3四半期以来、2年ぶりに成長率が 5 %を下回った。GDP の 2 分の 1 を占める家計最終消費支出は 5.06 %となり、前期 (5.22 %) から減速したものの、堅調を維持した。特に運輸・通信部門が 7.61 %と高い伸びを示した。また、GDP の 3 割を占める総国内固定資本形成は 5.77 %となり、前期 (4.63 %) から加速した。一方で、政府最終消費支出は -3.76 %となり、前期 (10.57 %) から大きく減速した。また、GDP の 5 分の 1 を占める財輸出は -6.91 %となり、前期 (-5.56 %) からさらに減速した。生産側から見ると、GDP の 5 分の 1 を占める製造業が 5.20 %と前期 (4.88 %) より加速したほか、運輸・倉庫業が 14.74 %、宿泊・飲食業が 10.90 %と高い伸びを示した。世界経済の冷え込みによる下振れリスクは依然として高いが、強力な家計消費と民間投資を背景に成長が期待されるとして、中央銀行は 2023 年の経済成長率の予測値を 4.5~5.3 %に据え置いている。(田村一軌)

マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

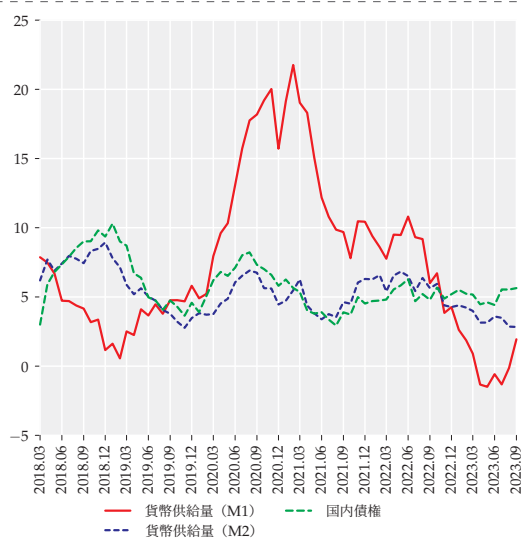


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

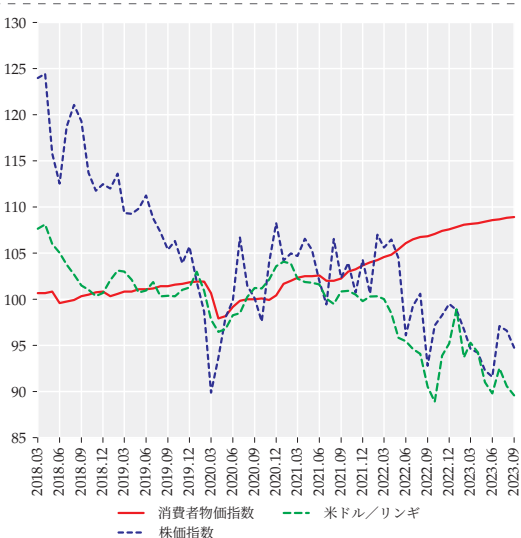
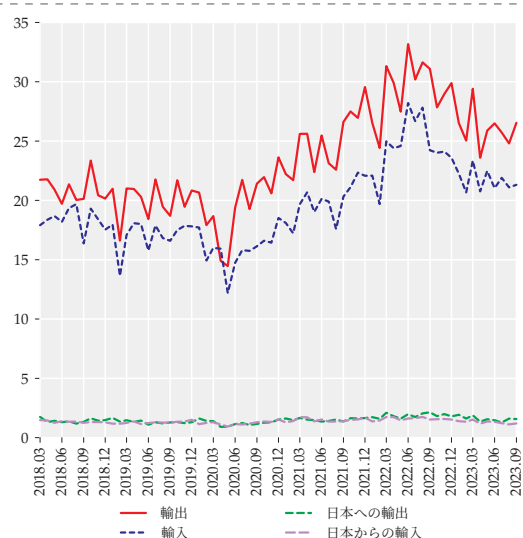


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



マレーシア経済の動向 (2023年第3四半期)

2023年第3四半期の実質 GDP 成長率は、前年同期比 3.3% となった。成長は堅調な内需によって支えられた。ヘッドラインインフレ率は前期の 2.8% から若干改善し、2% と緩やかな水準を維持した。米国の雇用市場の好調は、連邦準備制度理事会 (FRB) による長期的な引き締め政策スタンスと、それに伴う米国および世界の金利上昇への期待を促した。これとは対照的に、中国人民銀行は中国の成長率が予想を下回ったため、一段の金融緩和を実施した。こうした背景から、リンギットは他の通貨とともに 0.2% の下落に終わった。中央銀行は、厳しい世界環境にもかかわらず、マレーシア経済は 2023 年に約 4%、2024 年に 4~5% 拡大すると予測している。雇用と所得が堅調に推移するなか、特に内需の拡大が成長を牽引し、その他の良好な経済情勢とともにリンギットを下支えするだろう。インフレ見通しのリスクは、補助金や価格統制に関する国内政策の変更、世界の商品価格や金融市場の動向に大きく左右されることに変わりはない。(アルバロ・ドミンゲス)

フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

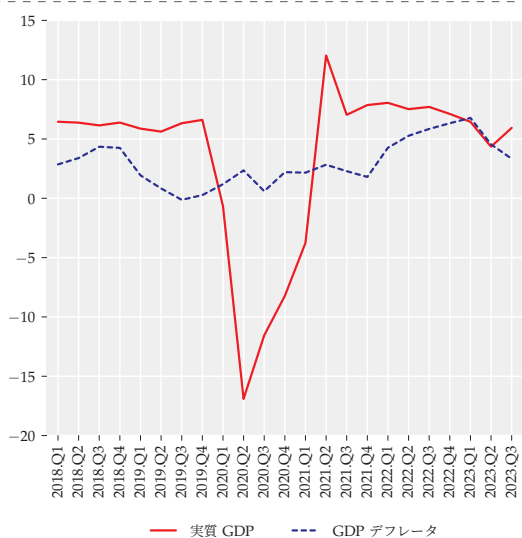


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

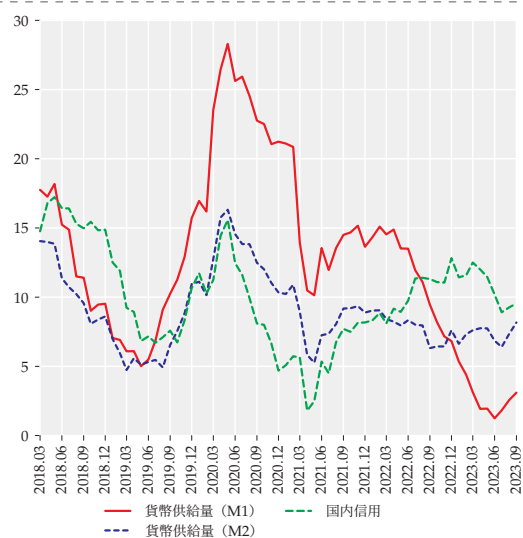


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

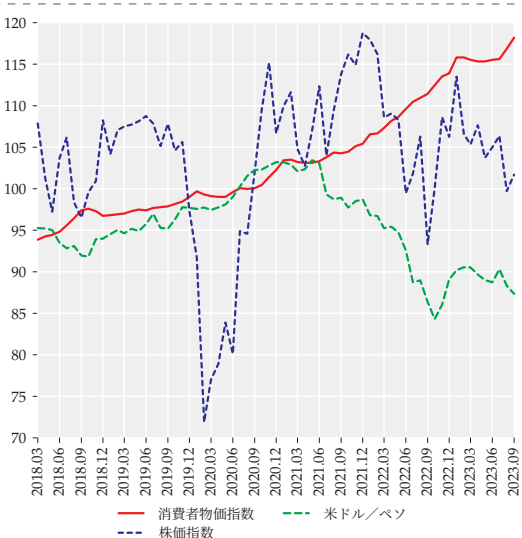
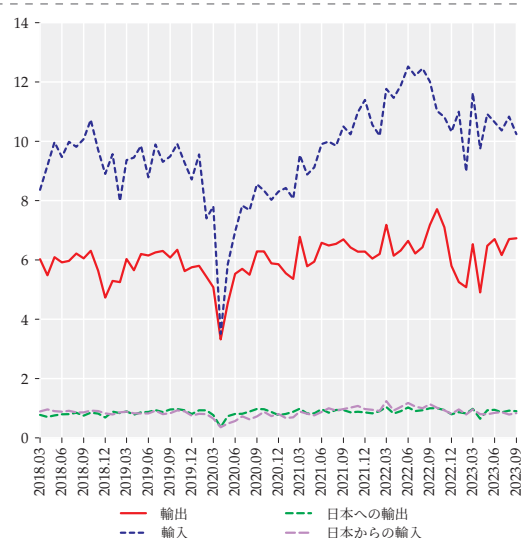


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



フィリピン経済の動向 (2023年第3四半期)

フィリピン経済は、2023年の実質 GDP 伸び率は、第1四半期 6.4%、第2四半期 4.3%と下降していたが、第3四半期は 5.9%とやや持ち直した。2023年第3四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、GDP の 73%を占める民間最終消費支出は 5.0% (前期は 5.5%) となり若干鈍化した。政府最終消費支出は 6.7% (前期は -7.1%)、総固定資本形成も 7.9% (前期は 4.0%) と大幅に伸びた。財・サービスの輸出は 2.6% (前期は 4.4%)、財・サービスの輸入は -1.3% (前期は 0.2%) と何れも減少している。第3四半期の伸び率を産業別にみれば、第一次産業は 0.9% (前期は 0.2%) と小幅な増加を示し、第二次産業は 5.5% (前期は 2.1%) と大きく上昇した。GDP の 65%を占める第三次産業は 6.8% (前期 6.1%) と堅調であった。中でも、宿泊・飲食業 20.0%、運輸・倉庫業 11.6%、金融・保険業 9.5%が第3四半期の成長に貢献した。

(岸本千佳司)

シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

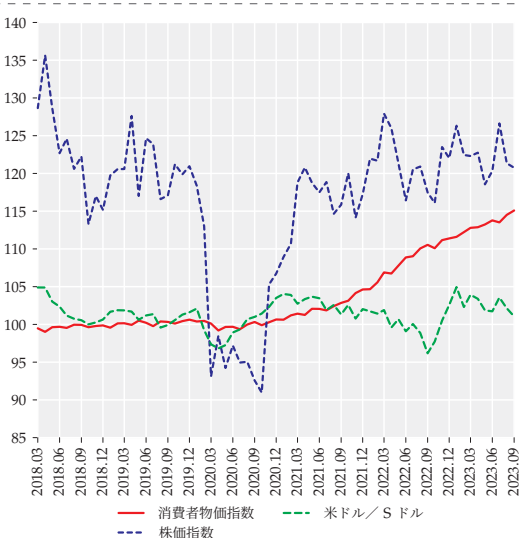
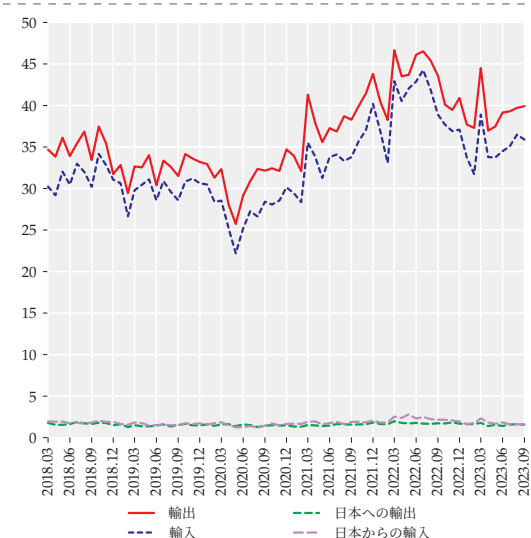


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



シンガポール経済の動向 (2023年第3四半期)

2023年第3四半期の実質 GDP は前年同期比で 1.1 %増加した。製造業は 4.6 %縮小し、前期の 7.6 %減から改善した。公共部門と民間部門の建設生産高がともに増加し、建設業は前期の 7.7 %に引き続いて 6.3 %成長した。小売業は前期 (2.4 %) と同様に 2.2 %拡大した。卸売業は前期の 0.2 %を上回り 1.2 %拡大した。これは、燃料・化学品および機械・装置・消耗品部門の拡大によって支えられた。宿泊業は海外からの訪問者数の力強い回復によって支えられ、12.9 %を記録し、前期 (13.0 %増) からの高い成長を維持した。前期以降、米国経済は当初の予想よりも好調であったが、これは主に国内サービス活動の堅調さによるものである。しかし金融引き締め政策の累積効果により、米国とユーロ圏の成長は緩やかになると予想される。外需の低迷により、シンガポールの製造業や海運業などの貿易関連部門は、2023 年の残り期間も低迷が続くと予想される。MTI は、2023 年の GDP 成長率を 1 %、2024 年を 1~3 %と予測している。(アルバロ・ドミンゲス)

タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

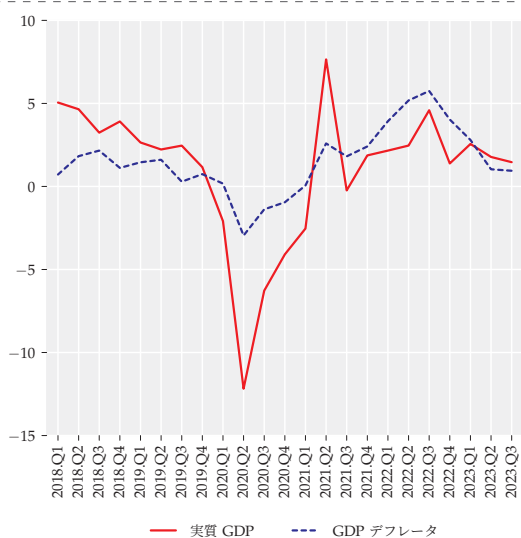


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

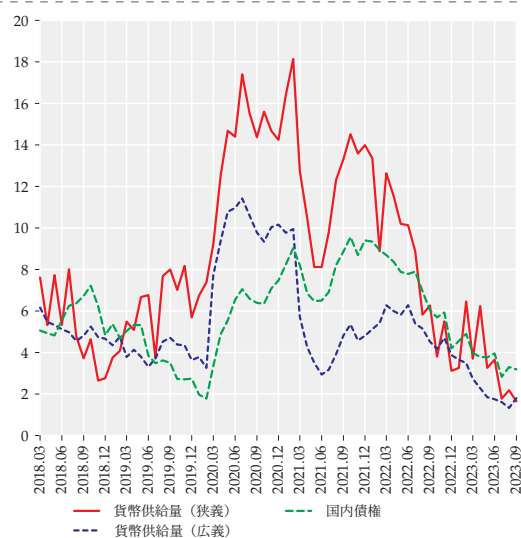
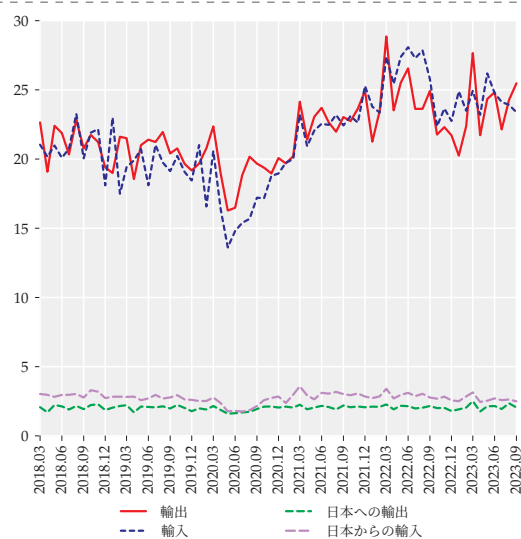


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



タイ経済の動向 (2023年第3四半期)

2023年第3四半期のGDP成長率は1.5%にとどまり、過去3四半期(第2四半期は1.8%増、第1四半期は2.6%増)の中で最も低かった。主な原因は商品輸出の減少で、輸出量が前期と比べて3.1%減少したのにもない、輸出額も5.6%減少し704億米ドルにまで縮小した。新型コロナウイルス感染症のための医療費の公費負担が減少し、政府支出は縮小傾向にある。一方で、労働市場の改善、消費者信頼感の高水準、およびインフレ圧力の緩和を背景に、民間消費支出は前四半期の7.8%から8.1%へと加速し、特に宿泊・飲食サービスが36.9%、金融・保険サービスが10.6%増加した。国家経済社会開発委員会(NESDC)は、観光客数は今年2,800万人、2024年には3,500万人に増加すると予測しており、観光業を中心に民間消費支出の継続的な拡大を見込んでいる。同委員会は、2023年と2024年の経済成長率をそれぞれ2.5%、2.7~3.7%と予測している。

(姚 瑩)

ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)

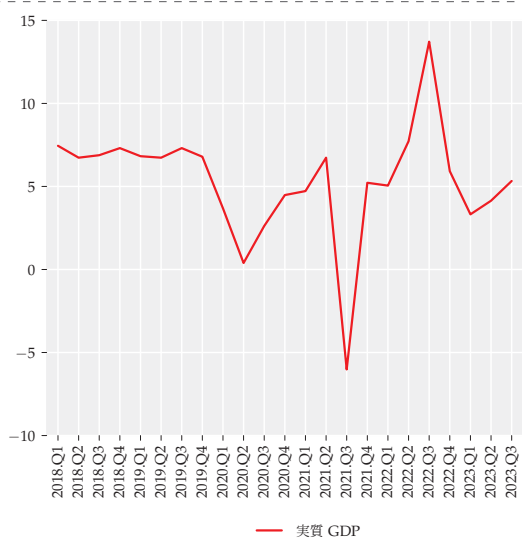


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

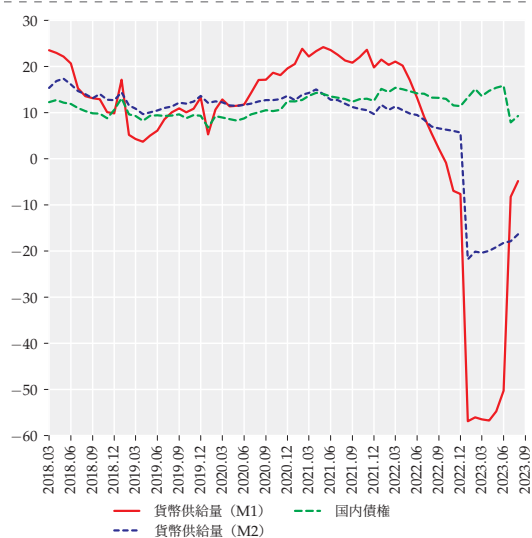


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

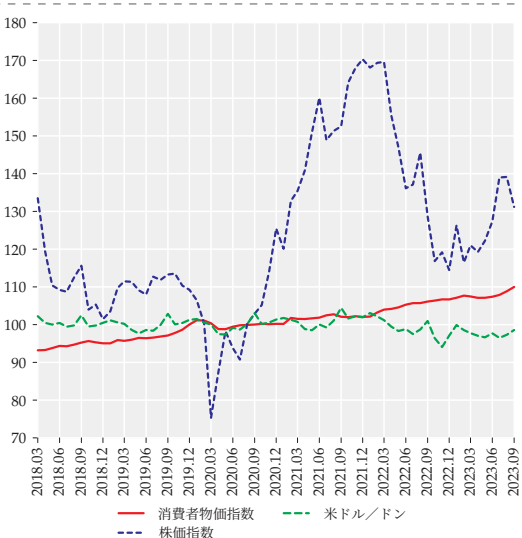
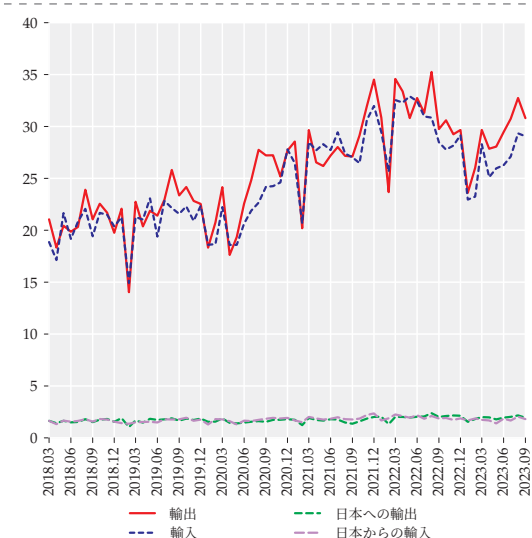


図4：輸出額と輸入額

(10 億米ドル)



ベトナム経済の動向 (2023 年第 3 四半期)

2023 年第 3 四半期のベトナムの GDP は 5.33 % 増となり、第 1 四半期の 3.28 %、第 2 四半期の 4.05 % からの上昇傾向が続いた。部門別に見ると、農業 (3.72 %)、工業 (5.19 %)、サービス業 (6.24 %) であった。貿易と観光がサービス部門を牽引し、特に卸売・小売、運輸・倉庫、金融・保険、宿泊・飲食サービスが好調であった。ただし、農業はある程度安定的に推移したが、世界的な需要減退により工業生産は苦戦を強いられた。労働市場は徐々に改善し、多様なニーズに対応する社会保障イニシアティブが実施された。外国直接投資は 5 年ぶりの高水準となった。貿易収支は黒字となったが、輸出入ともに前年比マイナスが続いている。外国人入国者数に変動はあるが、インバウンド観光客は大幅に増加した。国家予算は赤字であり、緩やかなインフレとなっている。総じて、ベトナムの 2023 年第 3 四半期の経済情勢は、サービス業、外国直接投資、社会保障に関する取り組みにおける成果を反映するとともに、課題も提示している。(グエン・フン・トウ・ハン)

インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

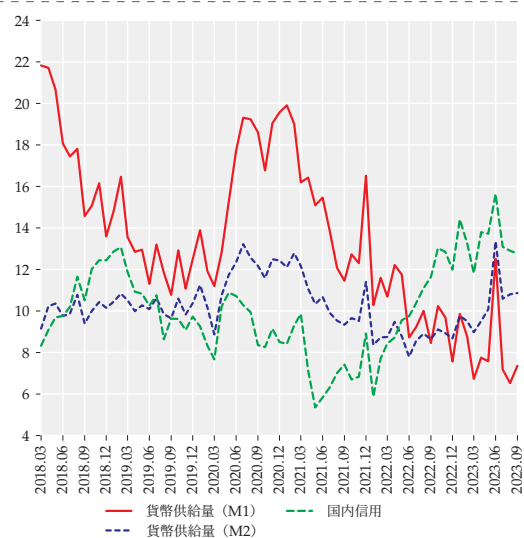


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

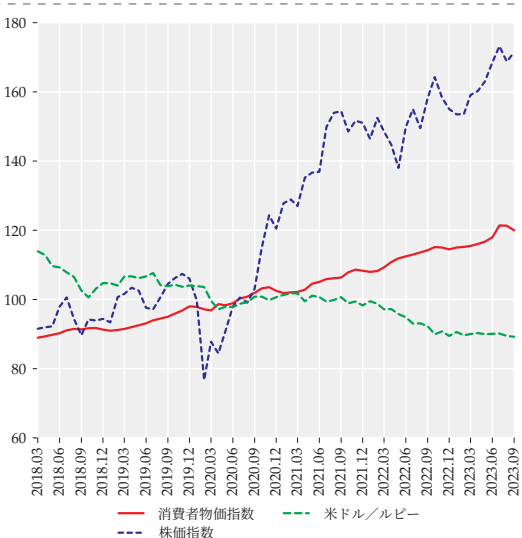
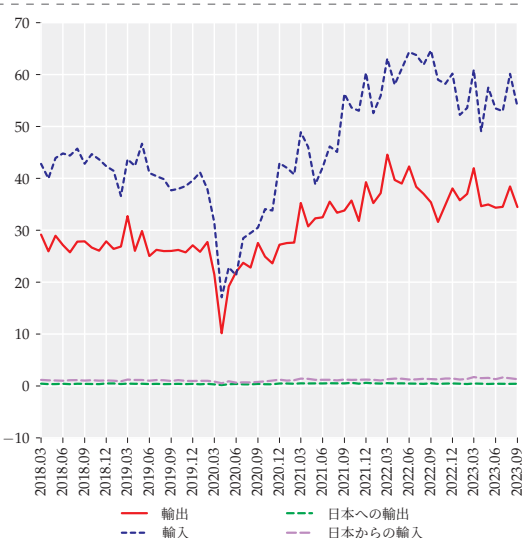


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インド経済の動向 (2023年第3四半期)

2023年第3四半期のインドのGDP成長率は前年同期比で7.6%増加し、インド準備銀行の予想(6.5%)を上回った。この成長は、製造業の拡大、政府の支出増加、そして都市部の強い消費に支えられた。特に製造業は13.9%の成長を達成し、建設業も13.3%増加した。金融サービスや貿易も堅調で、それぞれ6%と6.4%の増加を記録した。エルニーニョ現象の影響でモンスーンの雨量が低下したにもかかわらず、農業は1.3%の成長を達成した。支出面では、政府支出は12.4%増加し、前期の0.7%減から大きく回復した。資本形成は11%増加し、前期の8%から拡大した。一方、食品価格の高騰により、個人消費の成長は前期の6%から鈍化したが、それでも3.1%の増加を示した。クレジット評価機関S&P Global Ratingsは、今後もインド経済が堅調に成長すると予測しており、2024年から2026年にかけてのGDP成長率を6~7.1%と予測している。

(姚 瑩)

図に関するデータの出所および注

日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department, *List of All Statistical Products* (https://www.censtatd.gov.hk/en/page_1273.html)
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cl.aspx?n=2332>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cp.aspx?n=2327>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

インドネシア：

- 図 1, 図 4 Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id/subject/3/inflasi.html>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia (<https://www.bi.go.id/en/statistik/informasi-kurs>)

マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, Bank Negara Malaysia, *Monthly Highlights and Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/publications/mhs>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)

フィリピン：

- 図1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<https://psa.gov.ph/national-accounts/base-2018/data-series>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)；シンガポール金融管理局が2021年7月から統計の集計方法を変更したため、それ以降2022年6月までの前年同月比を計算していない。
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council, *National Account* (https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=national_account)
- 図2 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/monetary-statistic.html>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices (http://www.price.moc.go.th/en/home_en)；株価指数：Thailand, The Stock Exchange of Thailand, *Market Statistics* (<https://www.set.or.th/en/market/statistics/market-statistics/main>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)

ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 Vietnam, General Statistics Office, *Thematic Data, Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

インド：

- 図1, 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, Database on India's Economy, Statistics tab (<https://dbie.rbi.org.in/DBIE/dbie.rbi?site=statistics>)
- 図1 2023年第3四半期：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- 図3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics* (<https://data.imf.org/dot>)